



# 決算説明資料

2017年3月期 第2四半期

(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)



銘柄コード：7999

# MUTOH

2016年11月  
MUTOHホールディングス株式会社

# MUTOH :目次

## 【 概況説明 】

- 業績比較 .....( 1 )
- P/Lハイライト .....( 2 )～( 3 )
- P/L分析 .....( 4 )
- B/Sハイライト .....( 5 )
- セグメント情報 .....( 6 )

## 【 通期業績予想 】 .....( 7 )

## 【 IR基本情報 】 .....( 8 )

## 【 トピックス・製品情報 他 】 .....( 9 )～( 14 )



・本資料は、2017年3月期 第2四半期時点決算情報の提供を目的としたものです。  
 ・本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。また、今後予告なしに変更する場合があります。  
 ・本資料のいかなる部分も一切の権利はMUTOHホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行なわないようお願い申し上げます。

# MUTOH 業績比較

(百万円未満切捨て)

	前年数値	当初予想数値
	2016年3月期 第2四半期	2016.5.13 開示
売上高	11,375	11,000
営業利益	264	250
経常損益	237	250
親会社株主に帰属する 当期損益	0	150



実績	実績差額			
	対前年		対予想	
9,870	△1,505	△13.2%	△1,130	△10.3%
16	△247	△93.9%	△234	△93.6%
△98	△335	-	△348	-
△194	△194	-	△344	-

## \* 売上高

米国景気が堅調に推移する中、他地域では欧州において英国のEU離脱問題などにより、景気の不透明感が一気に増大し、急速に為替円高基調が進行しました。加えて、中国を筆頭としたアジア新興国においても景気減速基調が継続しています。また、国内景気においては実態経済下での停滞感が継続しています。このような状況下において、当社は円高影響に加え、欧州・アジア新興国地域などにおける景気減速の影響を受けました。

### ①. 対前年比較 △1,505百万

情報画像関連機器事業において、欧米における為替円高影響と価格競争激化の影響ならびにアジア新興国での景気減速に伴う影響から減収となりました。

### ②. 対予想比較 △1,130百万

上記、対前年比較理由によります。

## \* 営業利益、当期利益

営業利益では、主力製品である大判インクジェットプリンタの一部主要部品の価格上昇の影響による粗利率の低下に加えて、為替円高の影響から、対前年および予想ともに減益となりました。

### ①. 営業利益 対前年△247百万、対予想△234百万

(当初予想比較)

主に売上高要因によります。

### ②. 当期利益 対前年△194百万、対予想△344百万

(当初予想比較)

上記営業利益要因に加えて、円高の影響により、営業外収支においての為替差損の計上などにより当初見込みを下回りました。

# MUTOH P/Lハイライト(前年比較)

(百万円未満切捨て)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年増減		概 況
			金額	比率	
■ 売上高 :	11,375	9,870	△1,505	△13.2%	
売上原価	7,246	6,469	△776	△10.7%	・原価率65.5%→+1.8%
販管費	3,865	3,383	△481	△12.5%	・販売費△179百万、一般管理費△302百万
■ 営業利益 :	264	16	△247	△93.9%	為替円高要因による売上高減少による
営業外収支	△26	△114	△88		・為替差損79百万他
■ 経常利益 :	237	△98	△335	-	
特別利益	100	23	△77		
特別損失	2	130	+128		
■ 当期利益 :	0	△194	△194	-	

・減価償却費：229百万、開発費：631百万（△253百万）  
 ・決算換算為替：US\$105.20円（前年16.68円 円高）、EUR118.04円（前年17.06円 円高）

# MUTOH P/Lハイライト(計画比較)

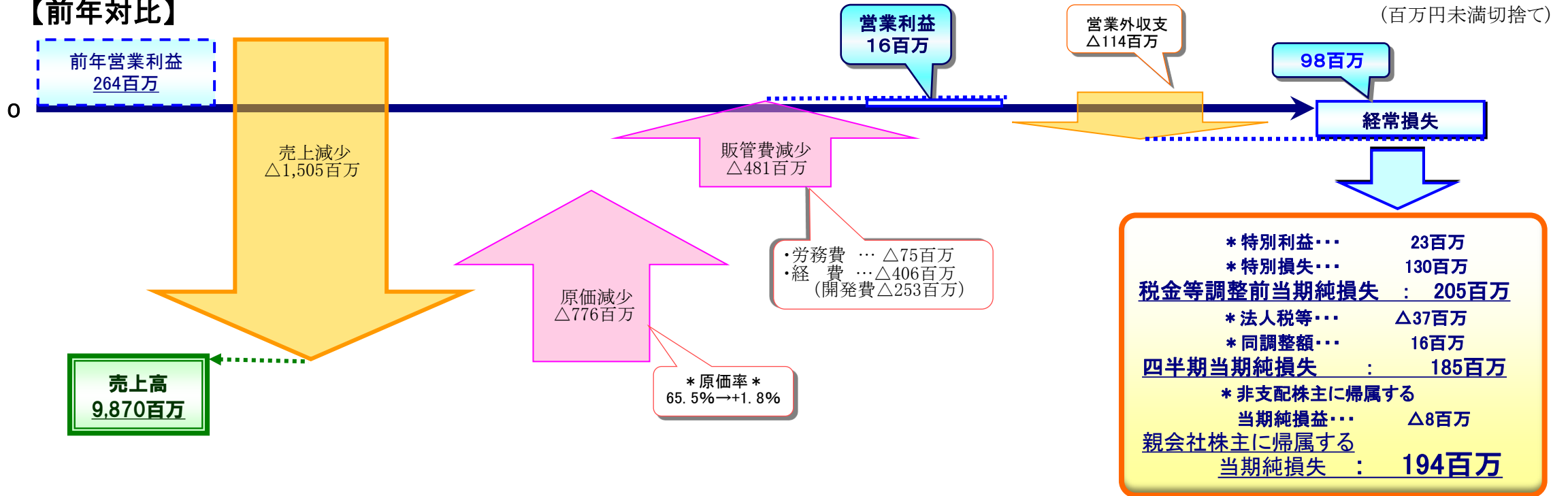
(百万円未満切捨て)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	計画増減		概況
			金額	比率	
■ 売上高 :	11,000	9,870	△1,130	△10.3%	
売上原価	7,300	6,469	△831	△11.4%	・原価率66.4%→65.5%
販管費	3,450	3,383	△67	△1.9%	・開発費△89百万他
■ 営業利益 :	250	16	△234	△93.6%	為替円高要因による売上高減少による
営業外収支	+0	△114	△114		・為替差損79百万他
■ 経常利益 :	250	△98	△348	-	
特別利益	0	23	+23		
特別損失	0	130	+130		
■ 当期利益 :	150	△194	△344	-	

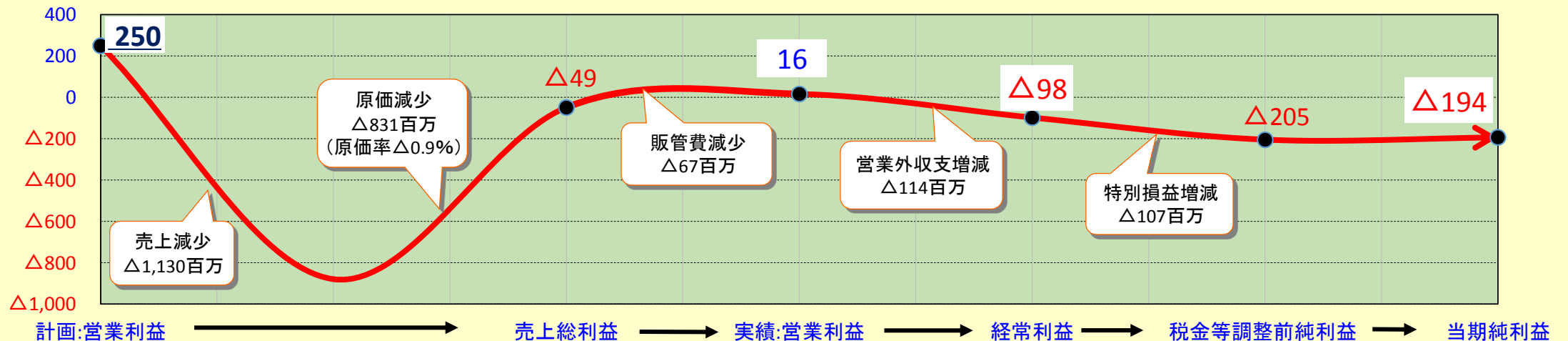
- ・開発費：対計画△89百万（計画値 720百万）
- ・決算換算為替：US\$対計画 2.80円 円高（計画値 108.00円）、EUR対計画 4.96円 円高（計画値 123.00円）

# MUTOH P/L分析(イメージ)

## 【前年対比】



## 【計画対比(対、修正値)】



# MUTOH B/Sハイライト

(百万円未満切捨て)

区 分	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	前期末増減		概 況
			金額	比率	
現 預 金	8,775	8,046	△728		・営業CF:+93百万円、投資CF:△97百万円、財務CF:△385百万円 他 ・売掛金の減少 ・部品、仕掛:+47百万、製商品:+121百万 ・繰延税金資産:+100百万 他
売 掛 債 権	4,570	3,587	△982		
在 庫	4,948	5,117	+169		
そ の 他	1,352	1,501	+150		
■ 流動資産計 :	19,645	18,251	△1,393	△7.1%	
有形固定資産	8,867	8,701	△165		・新規投資102百万、減価償却229百万円他 ・繰延税金資産:△18百万、投資有価証券:△189百万 他
無形固定資産	299	282	△16		
投資その他資産	2,889	2,657	△231		
■ 固定資産計 :	12,055	11,642	△413	△3.4%	
■ 資 産 合 計 :	31,701	29,894	△1,807	△5.7%	
買 掛 債 務	3,253	2,887	△365		・買掛金:△479百万、支払手形:+113百万 ・未払金:△58百万、未払法人税等:△194百万 他
短期性借入金	-	-	-		
そ の 他	2,185	1,873	△312		
■ 流動負債計 :	5,438	4,760	△677	△12.5%	
長期性借入金	-	-	-		
そ の 他	2,345	2,313	△31		
■ 固定負債計 :	2,345	2,313	△31	△1.4%	
■ 負 債 合 計 :	7,783	7,074	△709	△9.1%	
■ 純資産合計 :	23,917	22,819	△1,097	△4.6%	・自己資本比率:73.8%→+0.8%
■ 負債・純資産合計 :	31,701	29,894	△1,807	△5.7%	

# MUTOH セグメント情報

## ①. 売上高

(百万円未満切捨て)

	2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期		前年増減	
	売上高	比率	売上高	比率	増減	比率
アジア	4,008	35.2%	3,252	33.0%	△755	△18.9%
北アメリカ	2,164	19.0%	1,807	18.3%	△356	△16.5%
ヨーロッパ	3,148	27.7%	2,797	28.3%	△350	△11.1%
情報画像関連機器計	9,321	81.9%	7,858	79.6%	△1,463	△15.7%
情報サービス	1,068	9.4%	1,035	10.5%	△32	△3.1%
不動産賃貸	127	1.1%	128	1.3%	+1	+1.3%
その他	858	7.6%	847	8.6%	△11	△1.4%
合計	11,375		9,870		△1,505	△13.2%

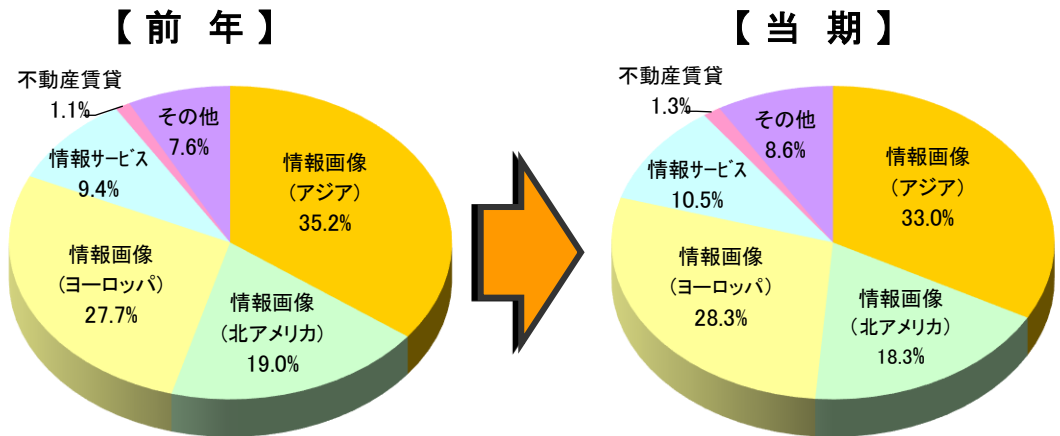
- ・アジア …中国をはじめとするアジア新興国での景気減速および販売価格の下落の影響により減収減益となりました。
- ・北米/欧州…販売価格の下落と円高の影響により減収減益となりました。
- ・情報サービス…売上高は微減ながらも3Dソリューション事業の収益性向上により増益となりました。
- ・不動産賃貸…売上・利益ともに概ね前年並みの推移となりました。
- ・その他 …概ね前年並みに推移推移しましたが、輸入商材において円高により仕入価格が改善いたしました。

## ②. セグメント利益

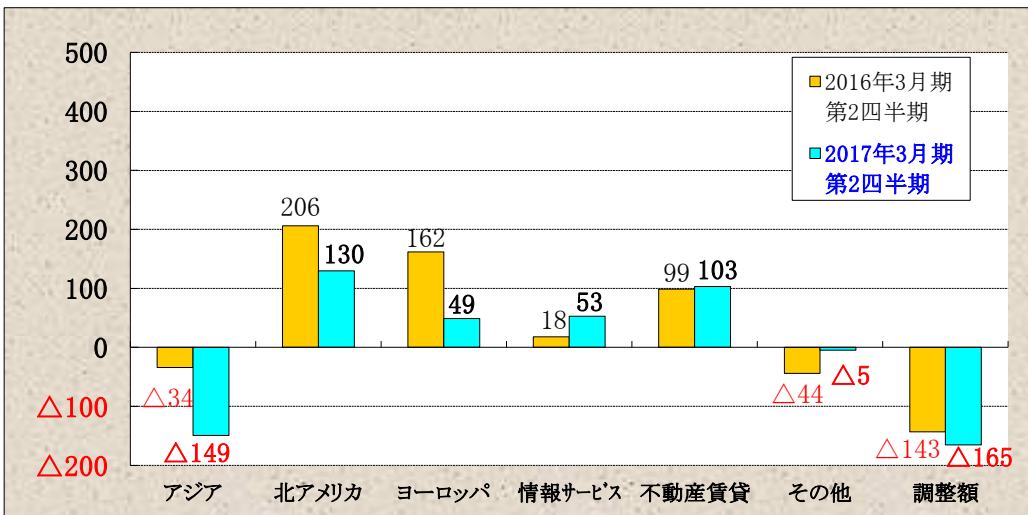
(百万円未満切捨て)

	2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期		前年増減	
	利益	比率	利益	比率	増減	比率
アジア	△34	△12.9%	△149	△931.3%	△116	—
北アメリカ	206	78.0%	130	812.5%	△77	△36.8%
ヨーロッパ	162	61.4%	49	306.3%	△113	△69.3%
情報画像関連機器計	334	126.5%	30	187.5%	△303	△91.0%
情報サービス	18	6.8%	53	331.3%	+35	+194.0%
不動産賃貸	99	37.5%	103	643.8%	+3	+4.1%
その他	△44	△16.7%	△5	△31.3%	+40	—
調整額	△143	△54.2%	△165	△1,031.3%	△23	—
合計	264		16		△248	△93.7%

## 【売上高】



## 【営業利益】





# MUTOH 通期業績予想について

## - 経営環境 -

欧州地域での政情不安による地政学リスクの長期化懸念と英国EU離脱問題から欧州経済の先行不透明感は増幅され、アジア新興国の景気停滞感の更なる継続も予想されます。また、比較的堅調に推移していた米国においても直近での大統領選の結果を受け、自国のみならず世界的に不透明感は増大しつつあります。

一方、国内経済においても同様に為替円高基調の継続など輸出企業への影響が予想され、引き続き個人消費も低迷傾向が予想されます。

## 【前年実績対比】

単位:百万円

	実績 2016年3月期	通期業績予想		
		2017年3月期 (2016年5月13日開示現在)	前年実績差額	
売上高	23,449	24,000	+551	+2.3%
営業利益	689	800	+111	+16.1%
経常利益	622	800	+178	+28.6%
当期利益	148	400	+252	+170.3%

## 通期業績予想

上記経営環境のとおり、取巻く経営環境は厳しい状況が継続する中、主力製品である大判インクジェットプリンタを中心に新市場開拓へ向けた新製品の投入など引き続き製品ラインナップの拡充に力を入れてまいります。また、グループ全体での組織再編などより強い企業体質を目指し収益拡大に取り組んでまいります。

通期業績予想については、円高基調の継続と長引く国内消費の低迷に加え、直近の米国大統領選の結果を踏まえた世界的な不透明感の増大など不安定な要素が多く、合理的に業績を予想することが困難であることから、現在算定中であり、今後明確になり修正の必要性があると判断され次第、速やかに開示をさせていただきます。

### ご参考

現予想における為替レート(期中平均)  
USD108.00円 / EUR:123.00円

# MUTOH IR基本情報

## ①.会社情報

会社形態	前年 (2016/3末)	当期 (2016/9末)
組織形態	監査等委員会設置	←
取締役定款数	10名	←
取締役数	8名	7名
内、社外取締役	0名	←
監査等委員取締役定款数	4名	←
監査等委員取締役	3名	←
内、社外監査等委員取締役	2名(独立)	←
1単元株式数	1,000株	←
買収防衛策の導入	未導入	←

	株主数	前年 (2016/3末)	当期(2016/9末)	
			株主数	株主比率
単元株主数	政府公共団体	0名	0名	0.0%
	金融機関	24名	24名	0.4%
	事業法人	126名	115名	1.8%
	証券会社	18名	30名	0.5%
	外国人	52名	55名	0.8%
	個人	5,630名	4,948名	75.9%
	計	5,850名	5,172名	79.3%
単元未満株主数		1,365名	1,346名	20.7%
株主数合計		7,215名	6,518名	100.0%
参考:外国人持株比率		1.74%	1.70%	

## ②.資本/株式情報

株式情報		前年 (2016/3末)	当期 (2016/9末)
発行済株式数	千株	54,818	54,818
自己株式	千株	8,935	8,940
直近(自己株式控除後)	千株	45,883	45,878
自己株比率		16.3%	16.3%
時価総額(自己株式控除後)	百万円	10,691	10,552

株価情報		前年 (2016/3末)	当期 (2016/9末)
期末株価	円	233	230
決算年度安値	円	197	203
決算年度高値	円	448	247

## ③.決算情報

BS情報		前年 (2016/3末)	当期 (2016/9末)
現預金+有価証券	百万円	8,775	8,046
投資有価証券	百万円	2,150	1,957
総資産	百万円	31,701	29,894
金融資産比率(金融資産÷総資産)		34.5%	33.5%
自己資本比率		72.9%	73.8%

PL情報(収益性)		前年 (2015/9末)	当期 (2016/9末)
営業利益率	%	2.3	0.2
経常利益率	%	2.1	—
当期利益率	%	0.0	—
株主資本利益率(ROE)	%	0.0	—
総資産事業利益率(ROA)	%	0.8	0.1

トピックス1  
大判インクジェットプリンタのMUTOH!

MUTOH AMERICA INC.

# ValueJet

## SGIA Expo 2016 - 5年連続 -

# “PRODUCT OF THE YEAR”



### 2016 SGIA Product of the Year Award Winners

ダイレクト捺染・インクジェットプリンタ (1,910mm幅メディア対応)

#### ValueJet 1938TX

【Roll to Roll Disperse Ink on Textile】部門



UVインク・インクジェットプリンタ (1,625mm幅メディア対応)

#### ValueJet 1638UH

【Roll to Roll Under 80”】部門  
【Flatbed/Hybrid Under \$ 100K】部門



## MUTOHのプリンタは 世界の多くのお客様から賞賛されています。

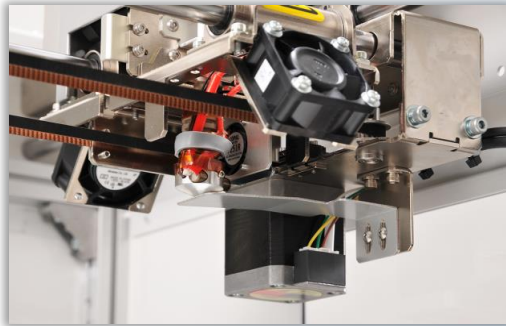


### SGIA Expo :

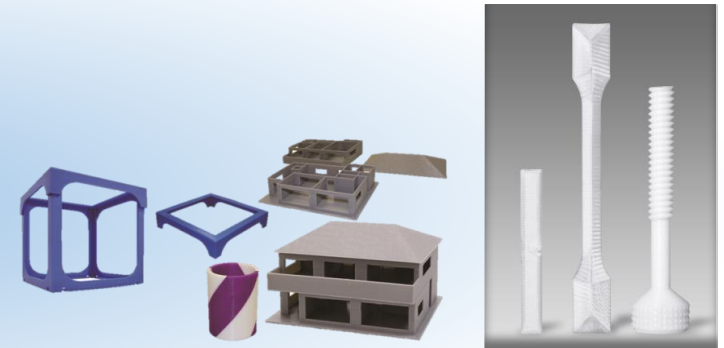
デジタル印刷やスクリーン印刷を支援する業界団体「SGIA(Specialty Graphic Imaging Association)」が主催するワイドフォーマット分野における全米最大の展示会です。

**Value**  
**3D MagiX**  
 エンプラ対応 デスクトップ3Dプリンタ  
**MF-2500EP**

“ものづくり”のプロが求める、エンブラ出力を可能にした業界初のデスクトップ3Dプリンタ！



300℃の高温に対応した  
独自開発ヘッド



300×300×300mm、  
50μmの大型・高精度造形



**安心の国産3Dプリンタ**

万全のサポートサービス・使いやすい日本語対応ソフト



# ValueJet Xシリーズに VJ-1938X 登場!

(1.8mメディアに対応)

最大作画速度 52m<sup>2</sup>/h

より速く、よりきれいに

高いコストパフォーマンスと

高生産性を実現!

## ValueJet

X series / Ultra Value Ink Edition



環境に優しいエコソルインク

Ultra Value Ink

大判インクジェットプリンタのMUTOH!

武藤工業株式会社

# ダイレクト捺染大判インクジェットプリンタ VJ-1938TX



- MUTOH 独自の布搬送機構 -



**高速・高品質プリント  
最大100kgメディアに対応**

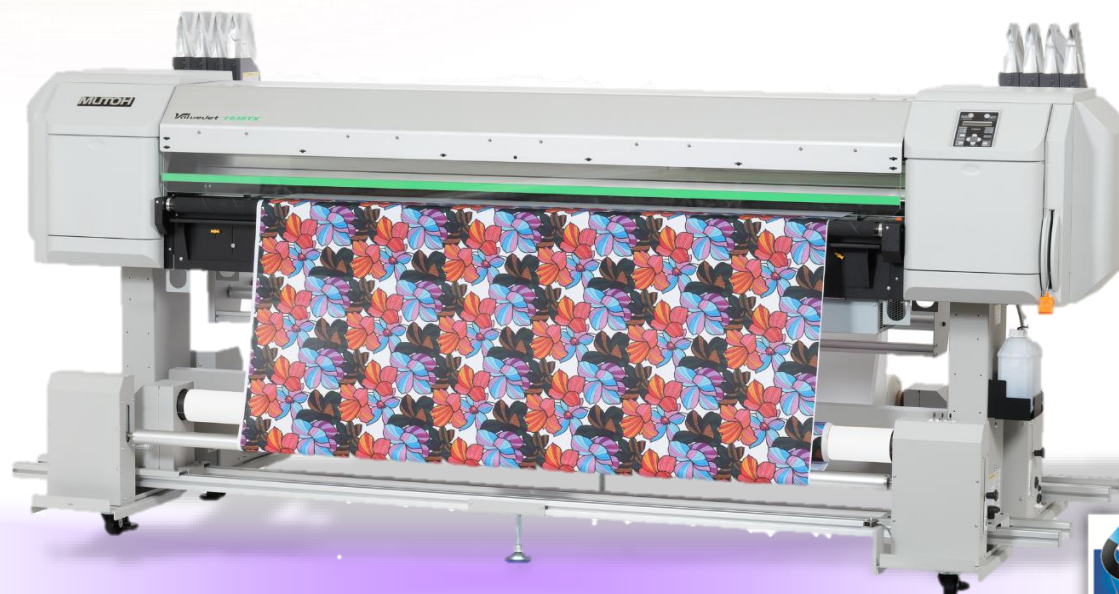


- プリントヘッド2個をスタガ配列 -



ファッションアパレル、ホームファブリック、  
スポーツアパレルへと幅広く展開

**ストレッチメディアにも対応!**



# SMART PRINTING TECHNOLOGY

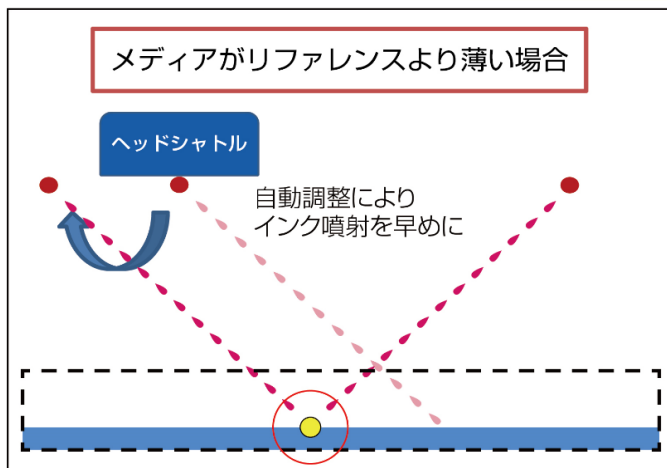


## 【ドロップマスター】

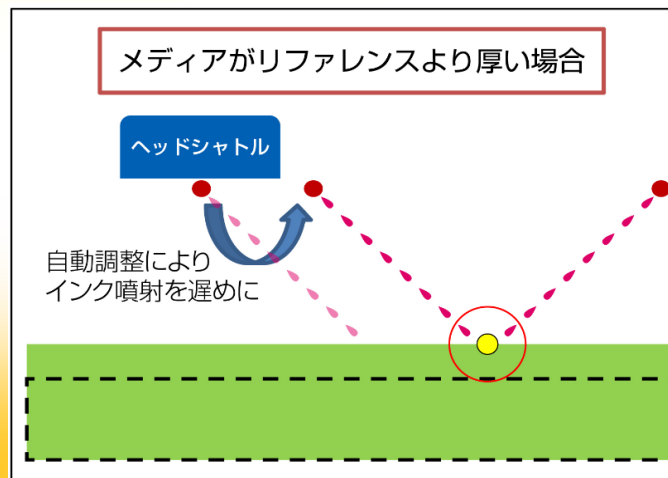
メディアが薄い場合や厚い場合では、インクの着弾位置が異なります。インクの噴射タイミングを早めたり、遅らせることでインクを正確な位置へ着弾させることが必要となります。

MUTOH独自のドロップマスターテクノロジーは、この煩わしい調整作業を軽減。メディアの厚さを事前入力することで双方向印刷時のインク噴射タイミングを自動で計算、調整します。このテクノロジーにより、全体的に画質の鮮明度と滑らかさがUP。大幅な時間の節約にもつながります。

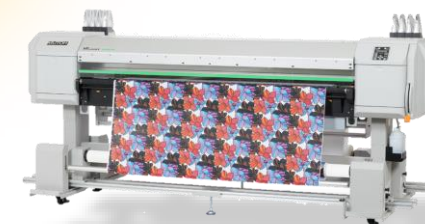
メディアがリファレンスより薄い場合



メディアがリファレンスより厚い場合



ドロップマスターテクノロジーは、  
「ValueJet X シリーズ」・「ダイレクト捺染プリンタ VJ-1938TX」に  
標準装備されています。



## グループ内組織再編に関するお知らせ

この度、MUTOHグループは、急激に変化する経済情勢に対処するため、今まで以上に意思決定の迅速化、事業執行の一体感の強化が必須と判断し、営業効率と顧客サービスの向上、ならびに原価低減、経費削減による収益力拡大を目的として、①開発・生産・販売一体化の推進、②販売窓口(国内)の集約を実施いたしました。(詳しくは、6月24日付ならびに8月9日付の開示情報をご覧ください⇒<http://www.mutoh-hd.co.jp/> )

### ① 開発・生産・販売一体化推進の概要:

海外販売子会社を情報画像関連機器事業の中核子会社である武藤工業(株)の傘下とし、株式を移管いたしました。再編した海外販売子会社は以下の通りです。  
ムトーアメリカ社、ムトーベルギー社、ムトードイツ社、ムトーノースヨーロッパ社、ムトーシンガポール社、ムトーオーストラリア社

### ② 販売窓口(国内)集約の概要:

平成28年10月1日付で子会社である(株)ムトーエンジニアリングの3Dプリンタ事業、設計製図機器販売、計測・制御機器販売、CADソリューション、環境対応製品事業の一部を、中核子会社である武藤工業(株)に事業譲渡により移管し、販売窓口を

# MUTOH

## ディスクロージャーポリシー

### ■ディスクロージャーの方針

当社は、株主・投資家の皆様に正確かつ公平な情報を提供するため、金融商品取引法および東京証券取引所の定める適時開示規則に基づく重要事項を迅速に公開するほか、当社を理解していただくうえで有効と考えられる会社情報につきましても、積極的に開示するように努めております。

### ■情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する重要情報の開示は、東京証券取引所への事前説明の後、東京証券取引所の提供する適時開示情報開示システム(TDnet)にて公開しております。

公開後は、速やかに開示情報を報道機関に提供し、また当社ホームページ上にも掲載いたします。

また、東京証券取引所の適時開示規則に該当しない情報を開示する場合にも、報道機関や当社ホームページなどを通じて、株主・投資家の皆様にできるだけ公平かつ迅速にお伝えできるように努めております。

### ■将来の見通しに関して

当社では、東京証券取引所に提出する業績予想や、当社ホームページに記載しております当社の業績予想、計画、戦略など将来の業績に係る見通しについては作成された時点で入手可能な情報に基づき一定の前提の下で当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

したがって、これらの業績見通しにのみ依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

### ■沈黙期間について

当社では、決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、本決算、中間決算、四半期決算の決算期日の翌日から決算発表日までを沈黙期間としております。

この期間は、決算に関するコメント・質問への一切の回答を控えさせていただきますのでご了承ください。

ただし、沈黙期間中に「ディスクロージャーの方針」に基づく情報開示が必要になった場合は、上記の「情報開示の方法」により速やかに情報開示を行います。

### ■情報開示をお断りする場合

当社では、競争優位上あるいは守秘義務契約上、特定の情報に関するお問合せにお答えできない場合がありますのでご承知ください。



**MUTOH**